

2011年1月期 第2四半期決算説明会

株式会社シーイーシー
2010年9月10日

1

2011年1月期 第2四半期 業績概況

2

上期実績及び下期の重点施策

3

2011年1月期 業績予想及び今後の業績目標

1

2011年1月期 第2四半期 業績概況

2

上期実績及び下期の重点施策

3

2011年1月期 業績予想及び今後の業績目標

2011年1月期 第2四半期 業績概況

(百万円未満切捨て)

	2010年1月期 第2四半期実績	2011年1月期 第2四半期予想 (2010年6月8日発表)	2011年1月期	
			第2四半期実績	前年差額
売上高	19,965 22,506	19,000	20,460	495 △2,045
営業利益	△898 △854	600	675	1,573 1,529
(営業利益率)	△4.4%	3.2%	3.3%	—
経常利益	△822 △773	400	696	1,518 1,469
(経常利益率)	△4.1%	2.1%	3.4%	—
当期純利益	△1,302 △1,278	100	128	1,430 1,406
(当期純利益率)	△6.5%	0.5%	0.6%	—

(※ 下段は双日システムズの売上含む)

2011年1月期 第2四半期 事業セグメント別実績



(百万円未満切捨て)

	2010年1月期		2011年1月期		
	第2四半期売上実績	構成比	第2四半期売上実績	構成比	前年差額
PROVEQ (第三者検証サービス)	2,072	10%	2,293	11%	220
PROFESSIONAL (ITライフサイクルマネジメントサービス)	7,070	36%	6,750	33%	△320
	8,801				△2,050
PROSES (ソリューションサービス)	880	4%	1,025	5%	146
PROGRESS (ソフトウェア開発サービス)	9,943	50%	10,391	51%	448
	10,753				△361

(※) 下段は双日システムズの売上含む

- PROVEQ : 組込みシステムの検証業務増加、検証・診断サービスの対象範囲拡大
- PROFESSIONAL : 双日システムズの非連結対象子会社化(▲1,731百万円)などによる減少
- PROSES : 官公庁向け案件の売上(308百万円)などによる増加
- PROGRESS : 主要顧客である製造業の業績回復を受けて売上増加

1

2011年1月期 第2四半期 業績概況

2

上期実績及び下期の重点施策

3

2011年1月期 業績予想及び今後の業績目標

中期経営計画 重点施策に対する上期実績

競争力 強化

- ソフトウェア開発技術・ノウハウの見える化による商品開発（実績2件）
- 既存ビジネス分野の選択と集中を行い、**新たな成長分野へSE戦力を再配置**
 - 医療、生産・物流、カーエレクトロニクス、環境
- IT資格取得制度の充実化（奨励資格の拡充）
 - 有資格者1,481名（取得率 80.1%）、取得資格数5,263

経営基盤の 改善

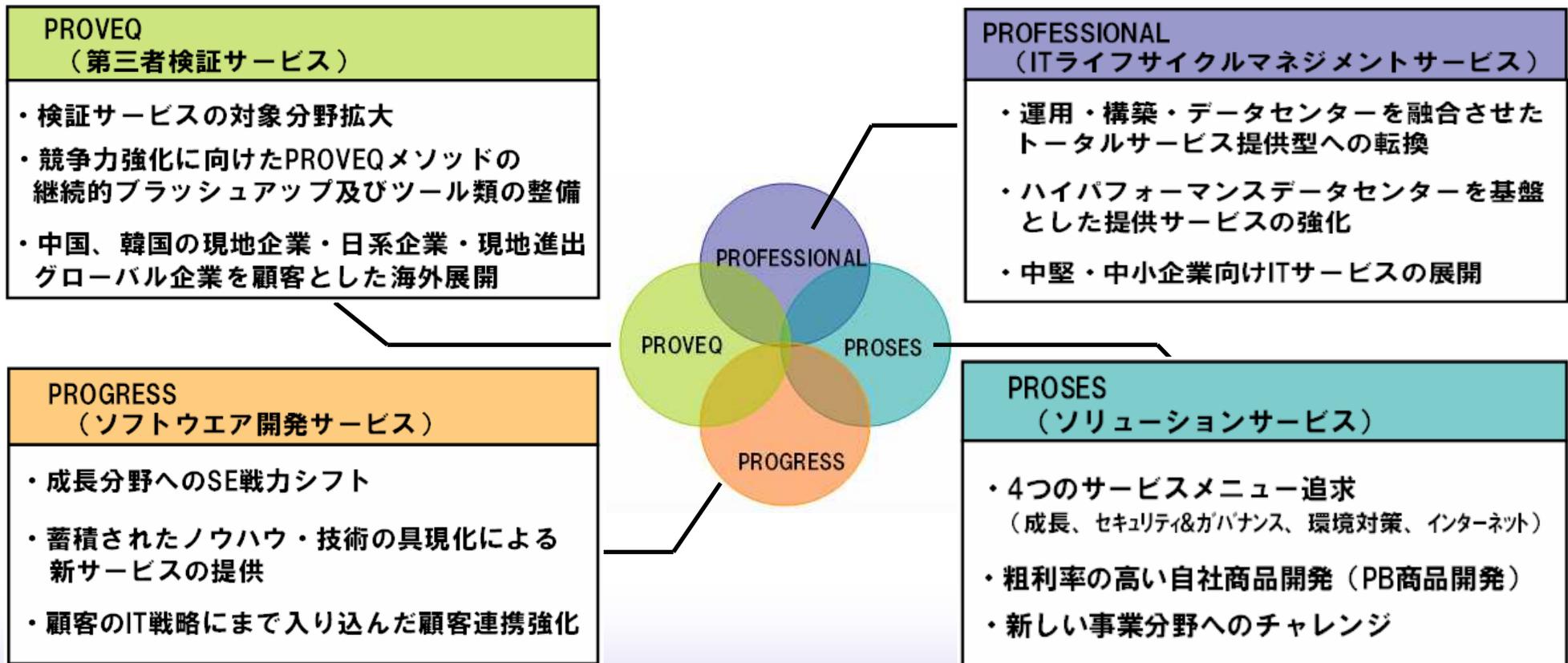
- 経営のスピードアップを狙い、即決型の組織へと機能改革を実行
 - 新基幹システム「SSPro」のリリース
 - グループ子会社を**4つの事業セグメントに合わせて再編**
- 当社製品拡販の為のアライアンス強化
 - Microsoft殿、ノベル殿、コニカミノルタビズコム殿、等
- 拠点整備などによる経費の抜本的見直しにより、12億円削減

CECマインドの 醸成

- 従業員視点での**職場環境作り**を推進
 - 人事諸制度改革
- 環境、障がい者雇用、社員のモラルアップ
 - CSR、内部統制等の充実の為の諸活動開始

中期経営計画における各事業セグメントの方針

ITサービスのプロフェッショナルカンパニーへ ～サービス化、ストック化、プロフェッショナル化～



上期実績及び下期重点施策（PROVEQ）

上期実績

エンベデッドシステム

- 対象機器・顧客の拡大により300百万円増加
 - 医療機器関連 3社増加（計6社）
 - 電動自転車の検証開始

ビジネスシステム

- WEBシステム検証：50百万円増加
- 診断サービス：50百万円増加

第三者検証サービスの海外展開準備

- 中国の現地日系企業向けサービス開始

下期重点施策

エンベデッドシステム

- 検証対象機器の更なる拡大
 - スマートフォン、アンドロイド端末

ビジネスシステム

- サービス差別化の徹底
 - 新商品「ClearDoc」投入による更なる拡大
 - 診断・改善サービスの拡充

中国・韓国への展開

- グローバル企業開拓

製品別、業種別のチーム再編成準備

- 顧客のニーズに合わせたチーム編成
 - より専門的で高度な検証サービス提供による競争力強化及び市場拡大

上期実績及び下期重点施策（PROFESSIONAL）

上期実績

システム構築案件の増加、データセンター稼働率上昇による売上の向上

- 仮想化、サーバー統合案件の増加
- データセンター稼働率90%超

CECオリジナルクラウドサービス「BizVision」の基盤整備

中堅・中小企業向けサービスの拡充

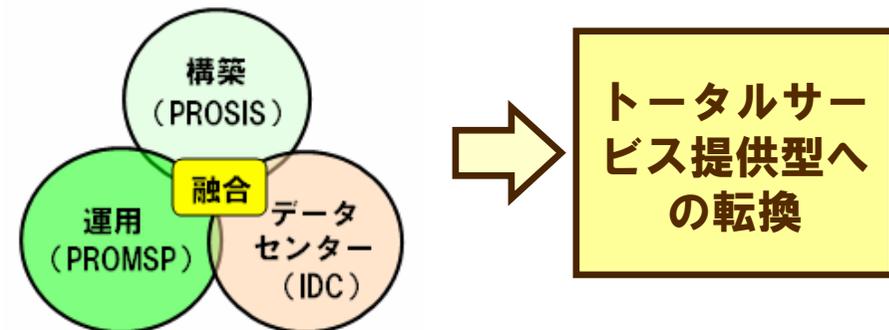
- 仮想化サービス
- ITQRS（ITクイックレスキューサービス）

ネットワークサービス拡大に向けた提供基盤の獲得

- MEX社のデータセンター事業譲受による強力なネットワークバックボーン獲得

下期重点施策

システム運用・構築・データセンターを融合させたクラウドサービスを提供



東京第二データセンター始動

- .com企業向けのサービス充実

中堅・中小企業向けのITサービス拡販

- コニカミノルタビズコム社と協同したサービス商品の強化
 - IT-Guardians拡販

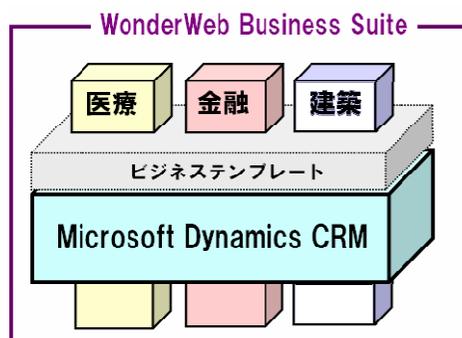
上期実績及び下期重点施策（PROSES）

上期実績

成長

□ WWBS

- 日本市場に向けた
テンプレートを整備
- ・ 官公庁向けソリューション
売上308百万円



セキュリティ&ガバナンス

□ SmartSESAME for MEAP

- 販売本数2,800本（目標値の1.43倍）

環境対策（新しい分野へのチャレンジ）

□ サービスメニューの整備を実施

- オフィス : SecurePrint! 【情報セキュリティ】
- バッテリー : INO-BEIS（仮称）【バッテリー診察】
- 電力 : EcoGuardian 【スーパー向け省電力】

下期重点施策

成長

- Microsoft社との協業による
WonderWeb Business Suiteの拡販

セキュリティ&ガバナンス

- PROVEQとの連携推進



環境対策

- 上期に整備した商品の拡販

上期実績及び下期重点施策（PROGRESS）

上期実績

成長分野へのSE戦力・商品の投入

- 物流（RaLC）
 - 東京大学SCM改善研究の検証ツールとして採用
 - 大手物流会社への導入決定
- 生産（RaAP）
 - オリンパス殿の実績をベースにした一般商品化
- 医療
 - 富山大学付属病院殿向け医療文書電子化システム受注
- カーエレクトロニクス
 - 車載組込みソフトウェア、カーナビ製品開発の案件受注

ものづくりソリューションの拡販

- 韓国展開（emFrontier販売代理店契約）
- 中国進出への基盤構築

高度SE支援サービスの提供による 既存顧客の確保・シェア拡大

- 2009年度下期からの継続顧客（184社）
 - 売上265百万円増加

下期重点施策

成長分野における自社商品の展開

- RaLC拡販（物流効率化の為の事前検証システム）
- RaAP拡販（生産効率化の為の事前検証システム）
- 医療文書電子化システムの一般商品化

ものづくりソリューション（VR+R） の海外展開

- 中国展開後、東アジア、欧米諸国へ進出

顧客のIT戦略を支援する高度SEの育成

- 上期から継続して実施

1

2011年1月期 第2四半期 業績概況

2

上期実績及び下期の重点施策

3

2011年1月期 業績予想及び今後の業績目標

2011年1月期 業績予想



(百万円未満切捨て)

	2010年1月期 通期実績	2011年1月期	
		通期予想 (9月7日 上方修正)	前年差額
売上高	39,313 42,925	41,000	1,687 Δ1,925
営業利益	Δ611 Δ620	1,200	1,811 1,820
(営業利益率)	Δ1.4%	2.9%	—
経常利益	Δ640 Δ645	1,000	1,640 1,645
(経常利益率)	Δ1.5%	2.4%	—
当期純利益	Δ1,398 Δ1,393	300	1,698 1,693
(当期純利益率)	Δ3.2%	0.7%	—

(※ 下段は双日システムズの売上含む)

期末の1株当たりの配当予想を5円から10円に修正

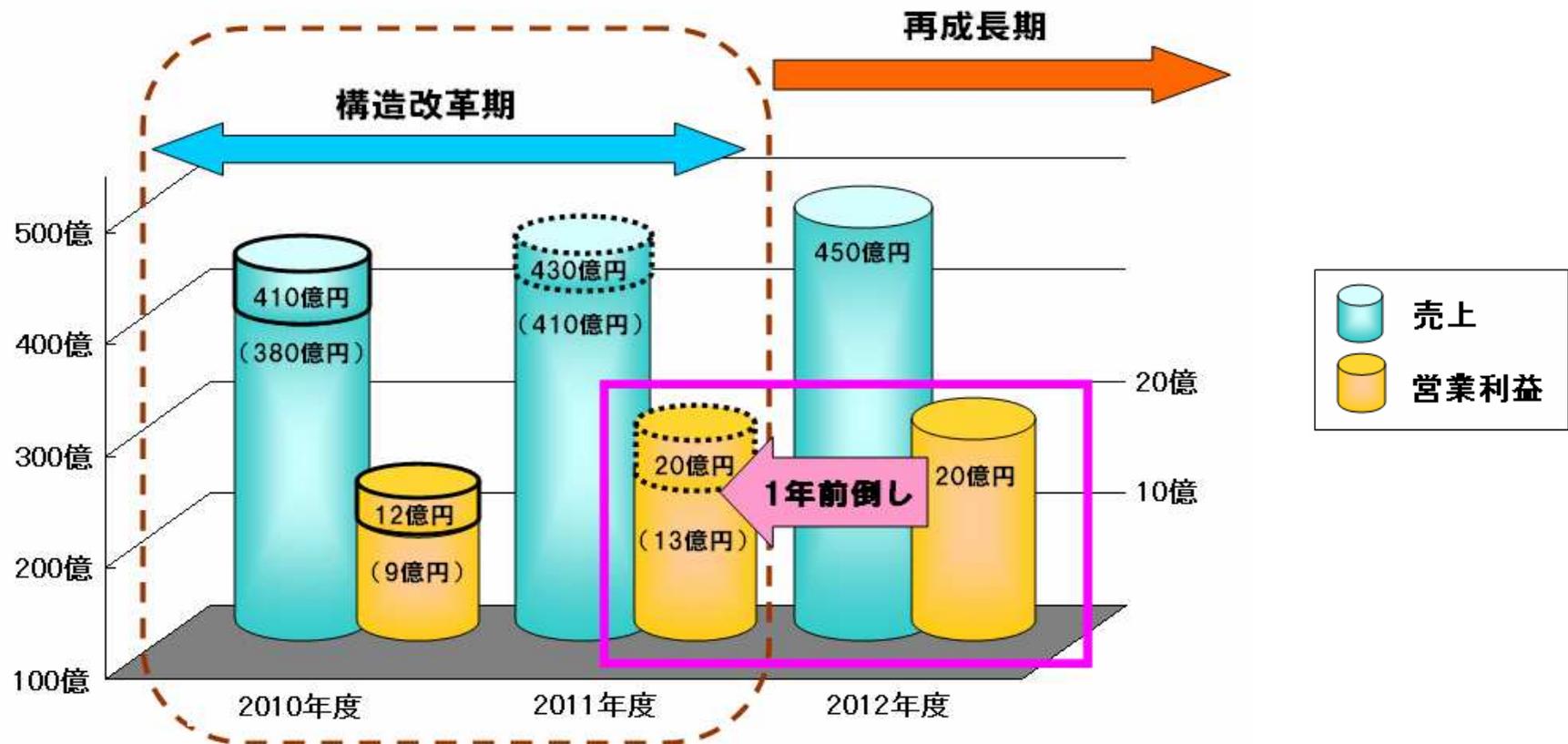
2011年1月期 事業セグメント別予想

(百万円未満切捨て)

	2010年1月期		2011年1月期		
	通期売上実績	構成比	通期売上予想	構成比	前年差額
P R O V E Q (第三者検証サービス)	3,828	10%	4,700	12%	871
P R O F E S S I O N A L (ITライフサイクルマネジメントサービス)	13,961 16,342	35%	13,700	33%	Δ261 Δ2,641
P R O S E S (ソリューションサービス)	1,983	5%	2,200	5%	216
P R O G R E S S (ソフトウェア開発サービス)	19,542 20,772	50%	20,400	50%	858 Δ372

(※ 下段は双日システムズの売上含む)

営業利益20億円を1年前倒し



※ () 内は上方修正前の数字

※ 実線は上方修正後の数値、点線は目標値



Computer Engineering & Consulting

[お問い合わせ先]

株式会社シーイーシー

総務部広報G 03-5789-2442

経理部IR担当 046-252-4111

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。